

第1分科会

第1分科会 Aグループ メンバー：
 原田 渡辺 八木
 長屋 赤坂 5名

① 市営コミュニティバス 『川根路線』の新設

□プロジェクト名称

□事業内容(もっとも重要で、効果的なものを一つ)

(起) 市役所本庁
 市民病院
 市内(帯通り)
 JR島田駅
 大鉄家山駅
 (終) 川根温泉

AM: 7:00
 運 送
 PM: 21:00
 行 1日5往復
 ※現路線の見直し

□目的・事業効果

- 地域高齢者の医療・福祉面の充実・利便を図る
 (川根から市民病院へ200台、市内側の温泉客200台)
- 市内間交流人口の増大を図る
 (市商売街の活性化につながる)

□実施主体
 島田市

② JR「金谷駅」の移転

投票欄
 夢を実現できるのは
 市民団体と市長の
 リーダーの力量

〈内容〉
 現在の高台地から平坦中心部の
 大井川鉄道「新金谷駅」周辺に移設

〈目的・効果〉
 ・金谷地区はじめ国道大鉄沿線の
 川根・島田西側地区住民の利便が図られる

・将来的には、移設新駅周辺地区の都市
 形成への活性化が期待できる。

〈実施主体〉
 JR東海道(株)大井川鉄道、島田市

MEMBER
 丸山、大石(高)、齋藤、大石(幸)、多治見

第1分科会 グループ メンバー：

□プロジェクト名称
トリケラトプスな街づくりプロジェクト

投票欄
 トリケラトプスのように外に向いた
 3つの角を持ち、
 (静岡空港、新幹線IC、新幹線新駅(※社))
 大きな体(面積)をもつ島田
 必要なのは、強い骨格と共生の心

□事業内容(もっとも重要で、効果的なものを一つ)

① 背骨としての都市基幹軸整備
 新たな大井川新橋ととともに、空港エリアと
 中心部国・県道野田ICをつなぐ
 基幹道路の整備

② 体を支える骨
 交通拠点と接合する基幹道路
 空港と新幹線駅、新幹線ICの接合
 観光遺産や自然資産と接合する交通ネットワーク
 (奥大井エリアの直通路、牧之原茶園と
 諏訪原域と川越遠足林をつなぐルート)

③ 市内外との
 共生の心づくり
 交通基盤を充実させることで
 市街地エリア(島田駅、鈴ヶ森山馬駅)
 では「歩く」を推奨。パーク＆ライド
 人と人がつながり、共生を促すための
 さまざまなフレンドリーエリアとする。

市内外の交通が一瞥できる
 「移動マップ」を作成。情報入手
 しやすい環境に向け、無線LAN接続
 の設置や情報拠点の設置を行う。

□目的・事業効果
 市民の移動利便性の向上。
 市民の域内移動に心地よい理解の向上。
 市外からの観光客の回遊率の向上による経済効果。
 プロジェクトの良化による市外就業者の移住。

□実施主体
 交通基盤のアクセス設定は市内外の利用者
 整備は行政及び関係者
 情報提供は民間事業者との協働によるネットワーキング
 できるネットワークは市民

トリケラトプス
 (Triceratops)

3つの角を持つ白亜紀の大型恐竜。
 頭や木の葉を食べる草食で、
 争いはせず優しい性格だったと言
 われる

道

第1分科会 グループ メンバー：種本・桑高・山村・松浦

投票欄

□プロジェクト名称

市街地と山間地のスロ-エコな道づくり

□事業内容 (もっとも重要で、効果的なものを一つ)

- ① 島田宿の水路の復活
- ② 山間地の幹線道路の整備

□目的・事業効果

人・物の交流とエコでスロ-な魅力あるまちづくり

□実施主体

市民・NPO・行政・実行委員会をつくる。